

9月20日、東京・霞ヶ関ビルで標準化センター創立10周年（及び日本の鉄鋼標準化80周年）記念講演会を開催した。104の国、大学、団体、企業から約250人が参加し盛大に行われた。

馬田鉄鋼連盟会長の挨拶、石田経済産業省産業技術基盤局長の祝辞をいただき、江藤経済産業省認証課長のご講演、大橋標準化センター事務局長の発表の後、海外から中国冶金情報標準研究院長のチャン氏、欧州鉄鋼標準委員会委員長のクレトン氏、米国材料試験協会構造用鋼委員長のスピア氏からそれぞれの国・地域の鉄鋼標準化の組織及び活動に関するテーマでご講演をいただいた。

海外からの講演者の講演では同時通訳を実施したこともあり、判り易く非常に興味深い講演であったとの御意見を多数いただいた。

講演終了後、同じビルの同階で懇親パーティを行った。

1. 講演会日時：平成19年9月20日（木）、14時30分～17時30分
2. 場 所：霞ヶ関ビル33階（東海大学交友会館）
3. 講演会

(1)馬田会長挨拶要旨

鉄鋼の標準化の歴史と標準化センター設立の目的、標準化の重要性、海外の各国や経済産業省との標準化協力、積極的標準化活動の推進、国や他団体への協力支援の要請、謝辞などを述べられた。

(2)石田局長祝辞要旨

経済産業省の標準化構想、国際標準化戦略、国際標準化官民戦略会議、経済産業省による国際標準化の支援、標準専門家の育成計画、謝辞などを述べられ、鉄鋼分野のISO活動と標準化センター活動を高く評価された。

(3)講演

- ①江藤課長講演要旨：「事業戦略と標準化」と題して、企業のあるべき標準化について目的、成果、戦略、課題など具体的な例を挙げて講演された。
- ②大橋講演要旨：「鉄鋼標準化の歴史と今後の進め方」と題して、日本の鉄鋼業の発展と標準化の歴史、積極的標準化活動の必要性、体制の強化と将来に向けてのあるべき標準化活動について発表した。
- ③チャン氏：「中国の鉄鋼産業及び標準化」と題して、中国国内の鉄鋼生産状況、中国の標準と国際標準化への対応状況、標準化方針、などについて講演された。
- ④クレトン氏：「欧州における標準化の過去、現在、未来－鉄鋼の標準化の場合」と題して、欧州標準化活動の歴史と内容、欧州規格とISOの関係について講演された。
- ⑤スピア氏：「米国の標準化システム」と題して、ASTMの活動と最近の動き、アジアの参加状況、ISOへの対応とASTMとの活動の違いについて講演された。 以上

<本件の問合せ先>

(社)日本鉄鋼連盟 標準化センター 事務局 Tel. 03-3669-4826

記念講演会の写真



満席の会場の様子



馬田会長



石田局長



江藤認証課長



大橋事務局長



チャン氏 (中国)



クレトン氏 (欧州/フランス)



スピーア氏 (アメリカ)